

rails, docker などを中心にnewsdict.jp で使用した技術を紹介しています。

[Github Actions] test後にsuccess or failureで 実行するコマンドを変える

by newsdict | 2020年5月4日 | コメントを残す

背景

https://newsdict.io でgithub actionsを使ったテスト後にslackにテスト結果を通知させたい

実装方法

- stepsの最後にrtCamp/action-slack-notifyを入れて、ビルドが終わったら通知を実行されるようにする
- actionsのif conditionalを使って条件分岐させる
- forkしたレポジトリからのPullRequest時には、Github secretが使えないのでmasterにpushしたときのみ、slack通知を発火するようにしている。

完成コード

https://github.com/newsdict/newsdict.io/blob/ee13b371e0d6af6df955b612531f51562fd42e27/.github/workflows/UnitTest.yml

キーポイント

- slack notifyの個所が2つある
ビルドが通った場合と失敗した場合でビルドを分けている、`{{ job.status }}`を使えばビルド結果は判断可能だが、色分けやメッセージを変更する場合はこのやり方が妥当でしょう。

検索...



forkしたレポジトリからPull Requestを送るときはPR先のsecretを読み取ることができないため、slack notifyでビルドエラーになっていしまう。本末転倒なのでsecretsが取れた場合のみslack notifyを発火するようにしている

- pullrequest, master両方トリガーにしているため、forkしたレポジトリからのpull request時にもPR元にsecretsさえ登録していれば、slack notifyが発火する（ややこしいが、PR先、PR元双方のactionsが動作することによってこれは実現される）

GITHUBACTIONS

NOTIFY

SLACK

Proudly powered by WordPress | テーマ: Yosemite 作者: GretaThemes

